

# I 調査結果の概要

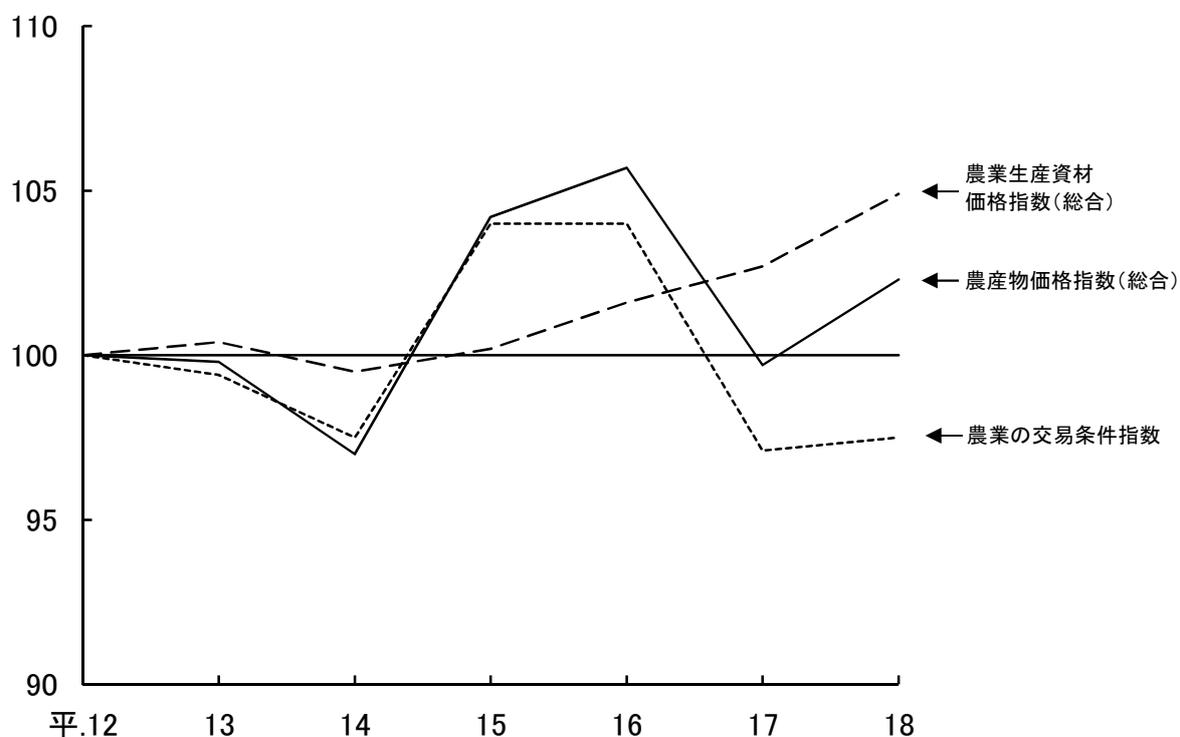
# 1 農作物価指数

## (1) 概況

平成18年の農産物価格指数（平成12年を100とする。以下同じ。）の総合は102.3となり、前年に比べて2.6%上昇した。また、農業生産資材価格指数の総合は104.9となり、前年に比べて2.1%上昇した。

この結果、農業の交易条件指数（農産物価格指数（総合）／農業生産資材価格指数（総合）×100）は97.5となり、前年に比べて0.4%上昇した。

図1 農作物価指数の推移(平成12年=100)



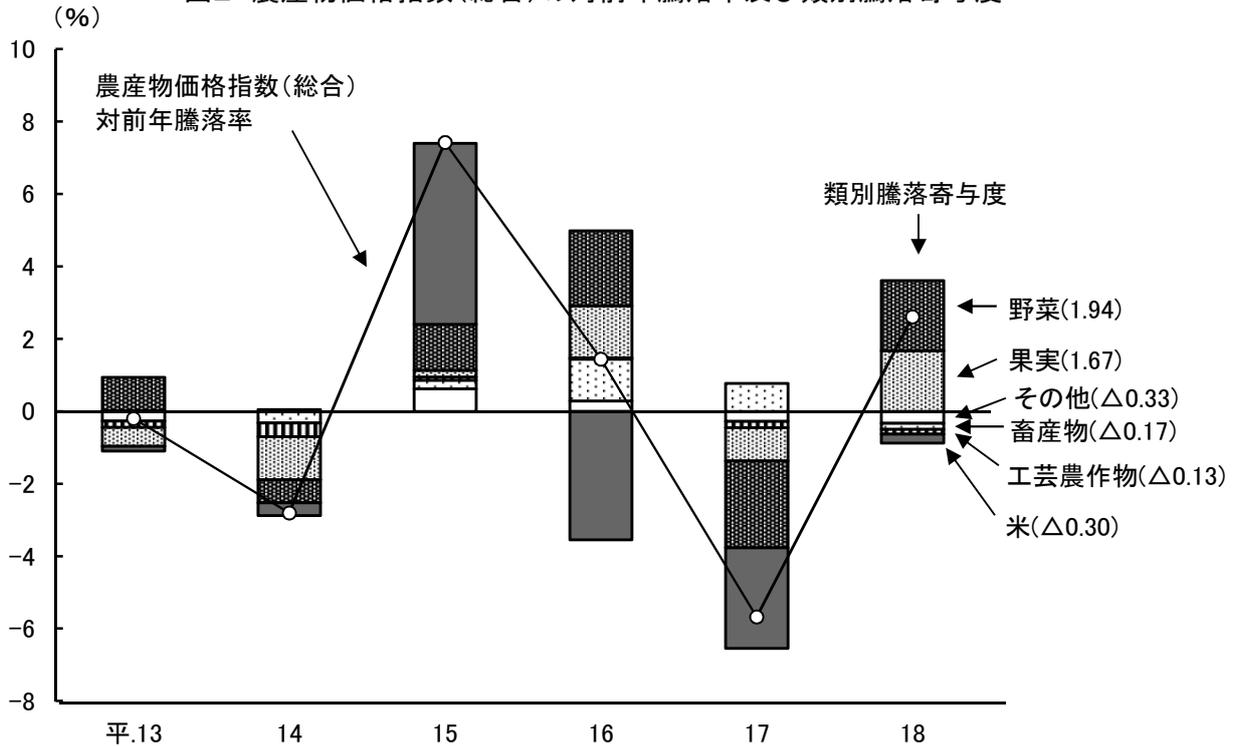
第1表 農作物価指数の推移

区 分	平成12年=100						
	平.12	13	14	15	16	17	18
農産物価格指数(総合) ①	100.0	99.8	97.0	104.2	105.7	99.7	102.3
農業生産資材価格指数(総合) ②	100.0	100.4	99.5	100.2	101.6	102.7	104.9
農業の交易条件指数 ①/②×100	100.0	99.4	97.5	104.0	104.0	97.1	97.5

(2) 農産物価格指数

平成18年の農産物価格指数（総合）は102.3となり、前年に比べて2.6%上昇した。これは、米、工芸農作物、畜産物等の価格は低下したものの、天候不順により野菜及び果実の価格が上昇したことによる。

図2 農産物価格指数（総合）の対前年騰落率及び類別騰落寄与度



注：騰落寄与度とは、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものである。

ア 米

米は90.8で、前年に比べて1.2%低下した。米の消費量の減少等により、価格が低下したことによる。

イ 野菜

野菜は112.7で、前年に比べて7.6%上昇した。これは、低温、日照不足等の影響により、野菜類全般の出荷量が減少し、価格が上昇したことによる。

ウ 果実

果実は106.1で、前年に比べて17.0%上昇した。これは、みかんが裏年だったことに加え、天候不順により出荷量が減少し、価格が上昇したこと等による。

第2表 農産物価格指数の推移

平成12年=100

農産物	ウエイト	指数		対前年騰落率(%)		騰落寄与度(%)	
		17	18	17	18	17	18
農産物総合	10 000	99.7	102.3	△ 5.7	2.6	△ 5.68	2.61
米	2 737	91.9	90.8	△ 10.3	△ 1.2	△ 2.72	△ 0.30
麦	189	89.3	90.8	△ 0.1	1.7	△ 0.00	0.03
豆	99	108.0	91.8	△ 5.2	△ 15.0	△ 0.06	△ 0.16
いも	166	112.1	107.8	6.8	△ 3.8	0.11	△ 0.07
野菜	2 420	104.7	112.7	△ 9.1	7.6	△ 2.40	1.94
果菜	1 215	102.0	113.6	△ 3.3	11.4	△ 0.40	1.41
葉茎菜	824	110.9	113.8	△ 14.0	2.6	△ 1.41	0.24
根菜	307	96.5	104.2	△ 15.1	8.0	△ 0.50	0.24
まめ科野菜	74	112.4	121.1	△ 12.3	7.7	△ 0.11	0.06
果実	1 083	90.7	106.1	△ 8.9	17.0	△ 0.91	1.67
工芸農作物	513	88.1	85.5	△ 3.9	△ 3.0	△ 0.17	△ 0.13
花き	678	104.7	102.8	△ 4.7	△ 1.8	△ 0.33	△ 0.13
畜産物	2 103	109.3	108.5	3.7	△ 0.7	0.78	△ 0.17
鶏卵	178	109.3	97.7	18.8	△ 10.6	0.29	△ 0.21
生乳	834	100.3	98.7	△ 1.2	△ 1.6	△ 0.09	△ 0.13
肉畜	778	112.2	112.0	4.1	△ 0.2	0.32	△ 0.02
子畜	277	127.1	134.0	7.4	5.4	0.23	0.19
成畜	29	117.2	115.5	6.5	△ 1.5	0.02	△ 0.00
繭	7	113.6	113.4	7.9	△ 0.2	0.01	△ 0.00
稲わら	12	99.7	103.0	△ 0.2	3.3	△ 0.00	0.00

注:騰落寄与度は、総合指数の対前年騰落率に対する類別指数の寄与度を示したものであり、算式は次のとおり(以下同じ)。

$$\text{騰落寄与度(}\%) = \frac{\text{類別}((\text{当年指数} - \text{前年指数}) \times \text{ウエイト})}{\text{総合}(\text{前年指数} \times \text{ウエイト})} \times 100$$

エ 工芸農作物

工芸農作物は85.5で、前年に比べて3.0%低下した。これは、茶の価格が低下したこと等による。

オ 花き

花きは102.8で、前年に比べて1.8%低下した。これは、切り花類の価格が低下したこと等による。

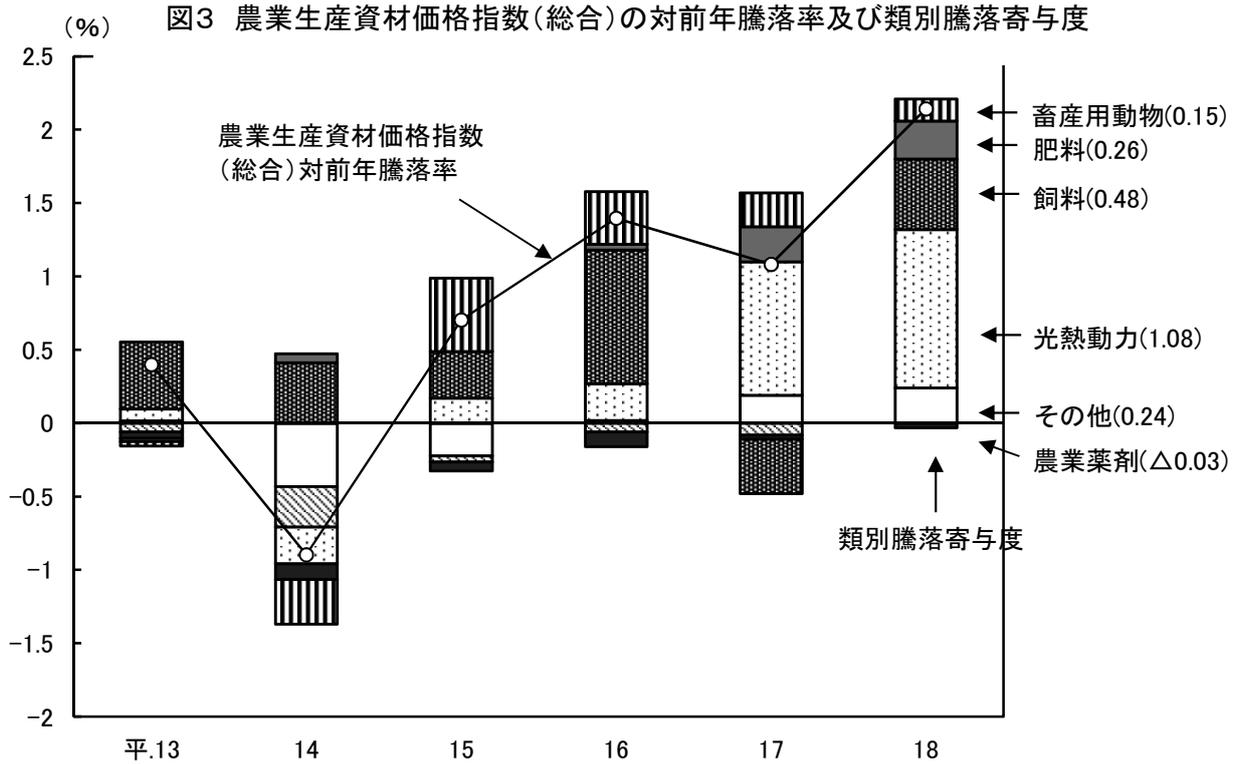
カ 畜産物

畜産物は108.5で、前年に比べて0.7%低下した。これは、鶏卵及び生乳の価格が低下したこと等による。

(3) 農業生産資材価格指数

平成18年の農業生産資材価格指数(総合)は104.9となり、前年に比べて2.1%上昇した。

これは、光熱動力、飼料、肥料及び畜産用動物の価格が上昇したことによる。



ア 畜産用動物

畜産用動物は120.4で、前年に比べて2.9%上昇した。これは、肉用牛子牛等の価格が上昇したことによる。

イ 肥料

肥料は105.8で、前年に比べて2.5%上昇した。これは、輸入原材料価格が上昇したこと等による。

ウ 飼料

飼料は116.1で、前年に比べて3.2%上昇した。これは、外国産穀物相場が上昇したこと等による。

エ 農業薬剤

農業薬剤は95.8で、前年に比べて0.3%低下した。

第3表 農業生産資材価格指数の推移

平成12年=100

農業生産資材	ウェイト	指数		対前年騰落率 (%)		騰落寄与度 (%)	
		17	18	17	18	17	18
農業生産資材総合	10 000	102.7	104.9	1.1	2.1	1.08	2.14
種苗及び苗木	585	101.5	101.7	0.4	0.2	0.02	0.01
畜産用動物	443	117.0	120.4	4.7	2.9	0.23	0.15
肥料	1 014	103.2	105.8	2.4	2.5	0.24	0.26
飼料	1 383	112.5	116.1	△ 2.3	3.2	△ 0.37	0.48
農業薬剤	884	96.1	95.8	△ 0.4	△ 0.3	△ 0.03	△ 0.03
諸材料	764	97.9	98.9	1.0	1.0	0.08	0.07
光熱動力	737	115.9	130.9	12.1	12.9	0.91	1.08
農機具	1 990	97.4	97.4	△ 0.4	0.0	△ 0.08	0.00
自動車・同関係料金	509	99.0	99.4	0.4	0.4	0.02	0.02
建築資材	569	95.6	97.2	0.1	1.7	0.01	0.09
農用被服	49	98.2	98.2	0.0	0.0	0.00	0.00
賃借料及び料金	1 073	99.5	100.0	0.6	0.5	0.06	0.05

オ 光熱動力

光熱動力は130.9で、前年に比べて12.9%上昇した。これは、原油価格が上昇したこと等による。

カ 農機具

農機具は97.4で、前年と同水準となった。

2 農業臨時雇賃金指数

平成18年の農業臨時雇賃金指数は、男性は100.0（1日当たり8,653円）、女性は100.7（1日当たり6,538円）となり、前年に比べて男性は同水準、女性は0.2%の上昇となった。

第4表 農業臨時雇賃金指数の推移

平成12年=100

年次	男			女		
	指数	対前年騰落率	全国平均賃金	指数	対前年騰落率	全国平均賃金
		%	円/日		%	円/日
平. 12年	100.0	△ 0.9	8 652	100.0	△ 0.2	6 495
13	100.1	0.1	8 659	100.2	0.2	6 506
14	100.1	0.0	8 663	100.3	0.1	6 517
15	100.2	0.1	8 671	100.4	0.1	6 522
16	100.0	△ 0.2	8 649	100.4	0.0	6 520
17	100.0	0.0	8 653	100.5	0.1	6 527
18	100.0	0.0	8 653	100.7	0.2	6 538